

編集後記

ラグビーワールドカップ2015では、日本代表が初戦で南アフリカに勝利し、世界的な話題となった。グループリーグを3勝と花々しい成績を収めたが、決勝トーナメント進出は叶わなかった。しかし、その戦いに日本中が感動しラグビーブームが再燃した。また、プレースキッカーを務めた五郎丸選手のルーティンが話題となった。

今年の東北支部学術大会は、山形市で開催され「放射線診療の未来へつなぐ技術・知識・信頼」をメインテーマに「がん診療」にスポットを当てた企画で行われた。一般演題は125題、参加人数539名の素晴らしい大会となった。特別講演では、山形大学の根本教授から、壮大な重粒子線治療プロジェクトを拝聴し、驚きを隠せなかった。シンポジウムでは、「がん診療における放射線技術」と題して、各モダリティの現状や最新情報の話題が提供された。また、医・工・産連携研究や「英語スライド作成セミナー」など盛りだくさんの内容だった。市民公開講座では、最近注目が集まっているマンモグラフィに関しての必要性や疑問を分かり易く解説していた。2016年JRCからの学術発表では英語スライドが基本となる。今回のようなセミナーを随時開催予定となっているので、是非参加していただきたい。

トップアスリートは「望み通りの結果を出すため」ルーティンをしている。このルーティンを日常生活に活かすには、私たちの習慣の要素である①トリガー②行動③報酬の内、トリガー(行動を自動的に呼び起こすためのきっかけ)をルーティン化し、目標達成に向けた行動を習慣化してしまう。ルーティンを日常生活に取り入れることができれば目標達成がより楽になると思われる。みなさまもよかったら試してみてください。

東北支部雑誌は、雑誌形式での発行は最後となり、来年度からデジタルデータでの配信(HP掲載)となる。ページ・予算の関係で、後抄録を1ページ、図版は白黒での作成と演者の方々にはご不便をお掛けして誠に申し訳ございませんでした。来年度からは、2ページ、カラーの図版で作成していただける。また、会員の方々にも、より分かりやすい支部雑誌になると思われるので、ご期待してください。

今後は、東北支部HPを開かないと雑誌を読むことが出来なくなり、雑誌で発刊しているときよりも、遠い存在になってしまうかもしれない。是非、ルーティンの1つに東北支部HP閲覧を加えていただきたい。よろしく願います。

(S.T)

事務局	公益社団法人 日本放射線技術学会東北支部 〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1番1号 東北大学病院 診療技術部放射線部門内
電話	022-717-7418
FAX	022-717-7430
発行人	坂本 博
発行日	平成 28 年 1 月 31 日

